



同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田寺前316
☎048-977-5441 FAX048-977-2031
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

令和4年度を迎えて

校長 尾花 信行



新型コロナウイルスが広がり始めてから2年と数ヶ月が過ぎました。この春の卒業生にとっては、高校生活の半分以上がコロナの影響の中にあっただけですが、獨玉での思い出が楽しいものであってくれたらうれしく思います。また、存分な学生生活を送る間もなく就活に入ることになる学生の皆さん、獨玉での経験がきっと皆さんの力になると信じています。さてこの春は、昨年に引き続き、長い年月に渡って獨玉を支えてこられたお二人、須藤憲視先生と三国美智子先生がご退職されました。教育者としての優れた力と、熱い想いで生徒に接してこられた姿は、数多くの思い出と共に、皆さんの記憶にしっかりと残っていることと思います。また、英語科の増田先生もご自身の夢を叶えるためにご退職されました。

老荘青

同窓会長 玉山 栄一



同窓生の皆さま、まだまだコロナ禍の中、いかがお過ごしでしょうか。日頃より同窓会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。総会も三年連続開催されず、今年もまたオンライン配信となりました。今年こそは皆さまとお会いできることを楽しみにしておりましたが、本当に残念でなりません。秋にはホームカミングデー、年明けには「まほろばの会」とイベントも控えておりますが、こちらは是非とも開催できますことを願っております。今、母校はちょうど過渡期に来ているのかもしれませんが。開校から四十年が経過して、初期の頃から教鞭を執っておられた先生方も徐々に退職され、教職員顔ぶれもガラリと変わりま

増田先生の英語の授業に強く影響を受けた方も多いのではないのでしょうか。新たな道を進むためとはいえ、こうして先生方が学校を離れていくのは寂しいものです。それでも、入れ替わりにお見えした新しい先生方の力もまた、これからの獨協埼玉の大きな支えとなっていくことと思います。

冒頭にも述べたように、昨年度はやはりコロナウイルスの多大な影響を受けたために、同窓生の皆さんに会う機会がごとく奪われてしまいました。体育祭や文化祭など、本当であれば多くの同窓生に訪れてもらえる行事は、今年度も来校者を限定して実施する方向で検討が進んでいます。大変残念ですが、こうした場で皆さんに会えるのは来以降になりそうです。

その一方で、ホームカミングやまほろばの会は、今後の状況を見ながら玉山同窓会長とも相談の上、中止せざるを得なかった数年間の分も含めて、実施の可能性を探っていくことになると思います。

皆さんに会える日を楽しみに。コロナに負けずに活躍されることを祈っております。

した。これまでのドットマらしさは維持しながらも、新しい風も吹いています。そうした新しい力は、コロナ禍にありながらも、いち早くオンライン授業などにも対応し、さらにはベテランの先生たちのサポートまでしてくれる頼もしい存在のようです。

さらに同窓会員も、この春に40期生が卒業して、すでに14000人あまりとなり、家族で例えるなら三世代の大家族にまで広がりました。事実、もともと兄弟姉妹での入学が多かったことに加え、最近では親子で獨協埼玉という家庭も見られるようになりました。いずれは本場に「孫が入学」という時期が、そう遠くなく来るかもしれませんよ。

そんな世代を超えた同窓生、過ごした時間こそ違いますが、同じ学び舎で学び、青春を謳歌した同志です。一致団結して同窓生相互のため、そして母校のため、在校生のため老荘青バランスのいいパブリックな組織でありたいと思っておりますし、また次の世代を担う若い力へとスムーズにバトンリレーができたらと考えております。最後にコロナ新規感染者も徐々に減ってきてはいますが、健康にはくれぐれも留意され、またお目にかかれる日を楽しみにしております。

ホームカミングデー

コロナ禍の影響により、2年ほどホームカミングデーを延期しておりましたが、本年より、少しずつ再開していきます。本年は、18期のホームカミングを実施いたします。17期につきましては、もう1年延期いたします。本年度40歳となる19期生の実施も来年に延期いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

37期生「まほろばの会」開催について

2023年2月10日(金) 14:30~受付

2019年3月卒業の37期生の皆さん、お元気でしょうか？新型コロナウイルス感染拡大の影響により、延期になっていた「まほろばの会」を、2023年2月に実施したいと思います。

なお今回以降、まほろばの会は、卒業して4年後の22歳になる年度に行う行事に変更させていただきます。卒業後、それぞれの進路を歩み、成長された皆さんの姿にお会いできることを楽しみにしています。担任をはじめ、たくさんの先生方と思い出話を華を咲かせ、楽しい時間を過ごしましょう。

詳細は学校HP・同窓会HPを通じてお知らせしますので、2023年1月頃にご確認下さい。

まほろばの会担当 佐藤 高士

退職にあたって

●須藤 憲視先生（理科）



この度、小生の定年退職にあたり、教職員の皆様、また卒業生の皆様など沢山の方々からお祝いを頂戴し、また労いのお言葉を賜り感謝に堪えません。本当にありがとうございました。獨協埼玉で41年、目白の獨協中高で4年、計45年の長きにわたり獨協学園にお世話になりました。定年まで曲がりなりにも務めてこられたのは、諸先輩先生方のお導きと同僚の先生方の支えのお陰に他なりません。また、育ちの良い心優しい生徒諸君にも文えられきたと言っても過言ではありません。今までありがとうございました。

岩手の高校を卒業と同時に、当時の第二精工舎の関連会社に勤務する傍ら夜学に通い、休日は都立高校のバレー部臨時コーチをするという日々を送っておりました。自然と教職を目指すようになったのもこの時期でした。その後、偶然にも理科の実験助手として目白中高に奉職する機会に恵まれました。獨協学園との関わりはここから始まります。大学専攻科を終了すると同時に、開校2年目から埼玉高校に勤務することになりました。

初任から、紀内学年主任のもとで一期生第2学年の担任、バレー・柔道部の顧問、教科主任、文化祭教員担当、修学旅行担当等々多忙な日々を送っておりました。しかし、充実した日々だった気がします。

獨協埼玉での勤務時代の思い出として、「部活動」を外すことはできません。初年度、中学時代に名を馳せた部員ばかりが1期生に集っていました。その代に加え、全国大会経験者や埼玉県2位のセッター等々そうそうたる顔ぶれの経験者が2期生として入部してきました。近隣校からは「獨協は集めている」との噂も広がっておりました。この猛者たち、全くもって人の言うことを聞きません。地味なレシーブ練習一切なし。スパイク練習のみなど皆好き勝手な事ばかりでした。本当に懐かしく思います。優秀な指導者が顧問であったなら開校初期段階ら関東常連校になったのでは、と思えるぐらいの強烈なメンバーでした。小生も気合いを入れ、角刈り頭髪で部員に混ざって白球を追いかけました。『メダカの学校』と揶揄されたのはこの頃です（♪誰が生徒か先生か〜♪）。副担任の時期は、校務的にも余力があり、部活に力を注ぐ時間を確保しやすかった気がします。東部新人大会地区準優勝や数度の関東私学大会出場を勝ち取ったときは本当にうれしかったです。

ただ、時を重ねる毎に少しずつ傲慢になりつつある自分がおりました。感情任せで吠えまくる「パワハラ」指導でした。長らく部員が数名の時代が続き、合同チームでの大会出場などを余儀なくされました。その当時を含めOB・OGの皆様には本当にご迷惑をお掛けしました。申し訳ござ

いません、お詫び申し上げます。また、このような人間にお付き合いくださり、部員の皆様には紙面をお借りし感謝申し上げます。

他にも学年の思い出話や事件？など、まだまだ沢山あり予定されたページでは足りません。紙面の都合上割愛させていただきます。

本校に長く勤務できた要因を考えますと、「寛大な学校」の環境が一番大きいと感じています。管理職の先生方をはじめ、諸先輩の先生方の寛容さが大きかったと思っております。このことが、のび伸びとした校風を育てていったのだと思います。

教育現場において、ルールありきの方針・指導は、やり易いかもかもしれません。しかし、「はみ出そうとする人間」への対応が最も重要と考えます。いつの世も彼等が『時代を動かす人物となりうる』と考えているからです。勿論、若者をスルーさせてはなりません。

同窓生の皆さん一人一人が、「社会の様々な場面でご活躍されている」ことを伺っております。うれしい限りです。大学受験突破という目的遂行のために一心不乱に学習に邁進する学校がもてはやされる昨今ですが、獨協埼玉のような、「度量の大きい人間形成」の育成をする学校は貴重な存在です。今後もこの基本方針を堅持して頂きたいと願っております。

最後になりますが、同窓生の皆様のご健康とご多幸を祈念し退職のご挨拶とさせていただきます。長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

●三国 美智子先生（保健体育）

40年間の教員生活を終えて…



退職にあたり、卒業生の皆さんから沢山の温かい労いの言葉やお花を始め、贈り物を頂きまして有難うございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

退職して改めて思うことは、獨協埼玉という学校がいかに素晴らしい学校であるかということです。素晴らしい学校というのは？本当にそうなのか？…理想を求めれば、まだまだ課題があるかもしれません。しかし、卒業生の皆さんが卒業後に様々な分野で活躍し、そして常に母校を見守って応援してくれていることがその答えだと思います。そのような素晴らしい獨協埼玉において教員生活を終えることが出来て大変幸せ者だと思っています。

退職後、数ヶ月が経ちますが、今まで出来なかったことを少しずつ実現していきたいと思い、まず、持ち物の断捨離から始めています。夫婦での旅行計画も来月に実施予定です。人生100年時代といわれるようになった今、まだま

だ折り返し地点といったところなので精力的に日々を送っていくつもりです。

最後になります、獨協埼玉の益々のご発展を心からお祈りしています。

●増田 広樹先生（英語）

ありがとう



獨協埼玉に勤めてからの5年間は楽しい思い出でいっぱいです。授業・部活・クラス、どれも思い出すと充実した生活だったと実感します。

まず、英語の授業です。英語科教員として、とても素晴らしい英語科の先生方と出会い、みんなで協力して、より良い授業作りに励むことができました。このおかげで、生徒は積極的に楽しく授業に参加していました。この経験は私にとってかけがえのないものになりました。本当に先生方には感謝しかありません！

続いて部活動です。獨協埼玉に勤めてから、部活動においてつらい思いをたくさんしてきました。しかし、その中

でも生徒が活躍しているところを、見ているのが何よりも幸せな時間でした。上手い・下手に関わらず、一生懸命に取り組んでいる姿はとても輝いていました。それを微力ながらサポートすることができたことは、とても貴重な体験でした。そして、私の要望に真剣に答えてくれた生徒には感謝しかありません！

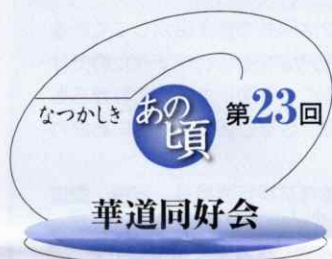
最後にクラス経営です。担任として高校4年間、そして中学1年間を務めました。本当に素直でまっすぐな生徒が多く、とても充実した毎日を送ることができました。もっとみんなと濃密な時間を過ごして、成長を間近で見たいなと思っています。獨協埼玉に通っている生徒は率直に何でも言ってくれるので、心から真剣に意見をぶつけることができました。

一方で、高校生の担任のときにクラスで行った「BBQ」・「校内リアル逃走中」・「水風船大会」・「クリスマスパーティー」、どれもみんなが楽しそうに参加してくれたのを今でもはっきりと覚えています。私のモットーは「学校生活を楽しく生徒に送ってもらうこと」です！獨協埼玉ではこのモットーを少しはかなえることができたかなと思っています。

このように、獨協埼玉では、様々な面で自分自身を成長させることができ、生徒の身体的・精神的成長に携わることができたのは、私の人生においてかけがえのない経験です。今まで、様々な角度から支援をしてくださった先生方、また私と関わってきた生徒たちにこの場を借りてお礼申し上げます。

「ありがとう」

部活動紹介



華道同好会は獨協埼玉高校が男女共学になったところからスタートしました。流派は池坊で、荒井ユキ子先生に来ていただき、盛り花を中心に花を生けました。顧問は岩田充泰先生で、しばらく

してから小栗友彦先生が副顧問として入り、生徒と一緒にお稽古をする姿が見られるようになりました。現在は荒井先生のお弟子さんの栗原先生に来ていただいています。部員は、多いときは20名近くいたときもありますし、1名しかいないときもありました。1名の時は、来年新入生が入らないと休部になるかもと心配している、どっと新入部員が入ってくることも何度がありました。現在は、中学生3名、高校生5名で男子部員もいます。活動としては、週に1回で

すが、夏休みには池坊主催の「花の甲子園」に参加して、お茶の水にある池坊会館に作品を出展しています。学校祭では、現在も各自異なる花材を生け、1階のエレベーター付近の廊下に展示しています。また、フラワーアレンジメントを作って、来校客にプレゼントをすることや、ハーバリウム・ドライフラワーリースを作って飾ることも始めました。新型コロナウイルス感染症の流行で、一昨年・昨年と学校祭が中止となりました。今年開催されれば、高校3年生を含め全員初の学校祭になります。開催時は是非お越し下さいと言いたいところですが、今年は開催できても保護者のみの公開になりそうです。以前のように学校祭で、多くの卒業生の皆様と再会できる日が、1日も早く来ることを心待ちにしております。

顧問 百済 ひとみ



2022年度 体育祭

翔

今年の体育祭は昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策を講じた形での開催となりました。団体種目であっても、人数を減らした形での参加となり、コロナ前の大縄、むかで競争、といった全員参加種目を行うことはできませんでした。それでも、3年生実行委員の生徒たちが中心となり、運動が得意な子も、不得意な子もみんなが楽しかったと思ってもらえる体育祭を目指して準備を進めてくれました。3月下旬から約2か月間、放課後の時間を使って種目エントリーの人数調整や台帳作成や学年練習の打ち合わせなど、最後の大会を控えた中で本当によく頑張ってくれました。私一人ではここまでのことはできなかったと思います。本当に感謝しかありません。体育祭当日は、昼から雷予報が出ていて、全競技を行えないかもしれないという時間との闘いの中で、生徒の皆さんは授業以上の力を発揮してくれました。昼休み明けの種目をカットしたり、順番を入れ替えて、何とか最終競技のリレーまで行うことができました。今回は3年ぶりの保護者参観もあり、3年生の保護者の方だけでしたが普段見せることのできなかった、生徒たちの生き生きとした姿も見ていただくことができました。閉会式後、雨と雹に見舞われてしまいましたが、生徒や教職員、PTAの方にご協力いただき無事に体育祭を開催することができました。獨協埼玉の伝統ある体育祭が、途切れず受け継がれていくことを願うとともに、関わっていただいた皆さんに感謝いたします。本当にありがとうございました。

体育祭担当 千葉 さやか

体育祭を振り返って

まず初めに、先生方をはじめ本部の人たち、体育委員、体育祭手伝い係の人たち、もちろん参加してくれた人たち、今回の体育祭に携わっていただいた皆様に感謝を申し上げたいと思います。雨や雷の予報があるなか始まった体育祭。やってよかったと満足のいく体育祭を創ろうと思い計画し、練りに練って、体育祭を行いました。準備段階では様々なトラブルがありましたが、そういうトラブルがあったからこそ最高の体育祭になったのではないかなと思います。閉会式の自分の言葉のあと急に緑の雲や雹が降ってきてしまいましたが、こういう過去にはない事象も1つの思い出になったのかなとポジティブに捉えたいと思います。

体育祭実行委員そして実行委員長として約2ヶ月間働かせていただきましたが、自分一人では何もできず協力してくれる方々の力があってからこそ、この獨協埼玉高校の「歴史に残る体育祭」というひとつの作品を完成することができたのではないかなと思います。この体育祭が一生の思い出になり、青春の1ページに深く刻まれていることを願います。これからも今回の体育祭を糧にして高校生活を楽しみ、自分の限界を自分で越えて、大きく空へと翔んでいきましょう！本当にお疲れさまでした。

高校3年4組 体育祭実行委員長 吉田 愛琉



第42回 蛙鳴祭 か え り ざ く 「蛙咲玖」

9月17日^土・18日^日 オンライン公開・一般公開（保護者対象）の2通りの公開を予定

同窓生の皆さま、今年も蛙鳴祭の季節となりました。昨年度は、2年ぶりの開催間際まで準備を進めながら、新型コロナウイルスの全国的な感染状況悪化により、計画していた多くの企画の実現が叶わなくなってしまいました。

しかし、昨年度の取り組みは蛙鳴祭に、確かな新しい風を吹き込みました。従来の企画に加え、オンラインでも楽しんでもらえるよう、生徒たちは様々な手法で工夫を凝らしながら今年の準備に臨んでいます。今年度ご来校頂けるのは保護者の方のみとなりますが、また必ず、同窓生の皆さまをお迎えしての開催を実現していきたいと思えます。その日が来るまで、今しばらくお待ちください。今年度の様子は、準備が整い次第本校HPにてお知らせ致しますので、オンライン公開にてお楽しみ頂けましたら幸いです。



昨年度のポスター



今年度のポスター

タイムカプセル

予定していた掘り起こしから2年経ち、今年ついにタイムカプセルを掘り起こしました。掘り起こしを手伝っていただいた幹事、同窓生の皆さん、ありがとうございました。タイムカプセル内の手紙の保存状態は非常に良好で、無事手紙の引き渡しが出来そうです。

また、以前手紙の引き渡しを蛙鳴祭で行うことを予定していました。しかし、今年度の蛙鳴祭は、在校生+保護者に限定して公開する予定のため、日にちを10月15日（土）とします。午後で時間設定をしていますが、詳細に関しては学校HPで連絡します。

ぜひ、懐かしの母校で13年前にタイムスリップしましょう。



5 ラウンドシステム導入の経緯

小学校での英語教育が始まり、「中高の英語教育でどのような力をつけさせるのか」については英語科の中で数年来の課題となっていました。本校英語科の坂本教諭（現教科主任）・増田教諭（2022年3月に退職）を中心にして、昨年4月に現中学2年生から新しい英語の教育システムをスタートしました。既に実践している他校の先生にも教えを請い、実に2年以上の準備期間を経て研修を重ねての船出でした。

従来は1年間かけて10程度のレッスンを1回ずつ教えていたのですが、5ラウンドシステムでは「1年間に教科書を5周する」方法に変わりました。1周を1ラウンドと呼び、ラウンドごとに習得したいスキルと到達目標を定めながら、繰り返し繰り返し、英語を全身に馴染ませるように教科書の文章を勉強していきます。1ラウンド目は音声による理解に特化して、文法の講義は極力排して音声による語彙の取得と、ストーリーの概略理解をメインターゲットにしています。定期テストもリスニングを中心に構成して、英語に対して音声によるアプローチを確立することに集中しています。

2周目からは少しずつスピーキング・リーディングのスキルにも挑戦して、ラウンドを進めていく中でライティングのスキルまで、無理なく習得していくイメージです。筆者は昨年高校3年生を担当しており、ちょうどHRの隣の教室が中学1年5組でした。授業の合間に大きな歓声が聞こえてくるのが度々あり、「レクリエーションでもやっているのかな？」と様子を伺うと、なんと坂本教諭が担当する英語の授業でした。また幼さを残した中学1年生たちが、ペア活動やグループ活動を通して本当に楽しそうに英語に取り組んでいたのです。発表することにも大変前向きで、イキイキとした表情でたくさんの生徒が指名を求めて手を挙げているのです。

語彙の取得は教室のプロジェクトとChromebookを使ったフラッシュカードを使って、生徒たちが自律的に取り組んでいます。テーマ別にイラストと語彙がセットになっていて、なかなかハイレベルの語彙も身に付けています。教科書の本文は全員で音声を繰り返し聞いて、ピクチャーカードをストーリー順に並べる活動を通して定着を図ります。近くの生徒と「こっちが先だったよ」「さっきのはティナ（登場人物）の声だったよね？」などと、活発に意見交換を行いながら楽しそうに活動しています。

5 ラウンドシステムのこれから

5ラウンドシステムは現中学1年生が第2世代です。中1担当の堀内教諭・佐藤講師、中2には坂本教諭にニューフェイスの神田教諭が加わって日々研鑽を重ねています。英語の教科会全体でも、ラウンドごとに研究授業を行って全ての教員がいつ担当することにもなっても大丈夫なように準備を進めています。来年度になると中学3学年全てが5ラウンドシステムに取り組むことになり、その翌年には5ラウンドシステムで3年間頑張ってきた中入生たちが高校に進学します。

彼らが大学受験に臨むのはまだまだ先のことですが、従来の模擬試験だけでなく英語検定・TOEIC・TEAPなどの民間試験でも目覚ましい結果を残してくれるものと信じています。5月に行われた第1回の従来型英検の準会場試験には学校全体で530名以上（全生徒の約3分の1!）が挑戦しました。特に中学生の受験者が増えています。5ラウンドシステムはこれからどんどん進化・深化していきます。新しい獨協埼玉の英語教育にぜひご注目下さい。

新しい風

新任教員紹介

今年度より、新たに6名の教員が着任いたしました。



有住 政人
(社会科)



佐藤 洋
(理科)



中村 初嶺
(国語科)



伊東 美岐
(情報科)



神田 智史
(英語科)



島村 巴菜
(保健体育科)

第25回 同窓会総会・懇親会開催

【今年も動画公開となりました】

新型コロナウイルス感染拡大が収まらない状況を鑑みて、3年連続となりますが、今年度もやむなく同窓会 HP にて動画公開の形式で行うことになりました。8月10日（水）より、「校長挨拶」「同窓会会長挨拶」「会計・会計監査報告」の動画を9月18日（日）の学校祭最終日まで公開いたします。

同窓会 HP <http://www.dokkyo-saitama.com/>

※獨協埼玉中学高等学校 HP からリンクが貼ってあります。

今年度も懇親会は中止となりました。卒業生・現役生・現職教員・退職教員が、旧交を温める機会が少しでも早く訪れることを切に願っています。様々な社会活動が再開される中で、来年こそは再開に漕ぎつけたいと考えております。

学校祭については、(記事執筆の時点では)公開時間を短縮して一般の方々や卒業生の皆様にもご来校いただけるように準備を進めております。詳細につきましては、獨協埼玉中学高等学校 HP にて最新の情報をご確認ください。

ホームカミングデー・まほろばの会、いずれの催しについても、学校 HP・同窓会 HP・会報・幹事からの連絡を通して、最新の情報をお届けする予定です。折に触れて、ご確認ください。

決算・予算報告

令和3年度 同窓会決算書

R3年4月1日～R4年3月31日

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---------|------------|---------------|------------|
| 前年度繰越金 | 35,883,808 | 次年度繰越金 | 36,877,638 |
| 終身会費卒業生 | 3,400,000 | 総会・懇親会費用 | 770,320 |
| 3年度懇親会費 | 0 | 会報費 | 1,136,049 |
| 利息 | 179 | 幹事会費 | 0 |
| | | 同窓会データメンテナンス代 | 34,320 |
| | | ホームカミングデーデータ代 | 0 |
| | | HP 関連 | 24,770 |
| | | 卒業証書フォルダー | 434,890 |
| | | 蛙鳴祭パンフレット紙面代 | 0 |
| | | 慶弔費(花束) | 6,000 |
| 収入計 | 39,283,987 | 支出計 | 39,283,987 |

令和4年度 同窓会予算(案)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-----------|------------|--------------|------------|
| 41期生 終身会費 | 3,040,000 | 総会・懇親会費用 | 800,000 |
| 総会・懇親会費 | 0 | 会報費 | 1,400,000 |
| R3年度より繰越金 | 36,877,638 | 幹事会費 | 30,000 |
| | | 慶弔費(花束) | 30,000 |
| | | 卒業アルバム保管用 | 10,000 |
| | | 企画費 | 500,000 |
| | | 卒業証書フォルダー | 500,000 |
| | | HP 関連 | 25,000 |
| | | 蛙鳴祭パンフレット紙面代 | 30,000 |
| | | 予備費 | 36,592,638 |
| 収入計 | 39,917,638 | 支出計 | 39,917,638 |

教育実習を終えて

●安西 夏帆

教育実習生として貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございます。本当に多くの先生方や生徒たちに支えられて、充実した3週間を過ごすことができました。

実習を行う中で、教材研究や授業準備の大切さを改めて知ることができました。生徒が授業に興味・関心を持ってもらえるよう、教科書に記載のないような補足資料を用意するなどの工夫が必要であると学ぶことができました。また、教材研究を行う中で、自分自身も新たな知識を身に付けることができたため、教員は学び続けなければいけないことにも改めて気付かされました。

今回の教育実習での経験を生かし、教員への夢に向かって努力したいと思います。

●佐々木 亮輔

私の教育実習は非常に学びの多い3週間でした。実習の中で多くの先生方から多くの指導スタイルを学び、その中で私自身どのように授業を展開することで生徒が楽しく、そして有意義な学びを得ることが出来るか考えさせられました。学校は知識を学ばせる場だけでなく、生徒たちが考える力を養いながら

学びを深めていく場所であること、改めて考える力の大切さを身をもって考えることが出来ました。

生徒たちに考えさせ、それを授業の中でさらに深めていく、その一連の流れが出来てこそ1つの授業の形が出来ること。この実習で学んだことを自らの糧として、さらに精進して参りたいと思います。

●佐藤 龍太

私にとっての母校はのびのびとしたぬくもりのある学校でした。それは3年の時を超えても変わることはなく、その恵まれた環境の中で3週間学ぶことができたことを感慨深く思っています。

私の学びは「言う」ではなく「伝える」ということ。我々がお世話になった小平学年の先生方が大切にしていたことであると実習中に伺いました。人と人とのコミュニケーションの中で、自分が相手に感じてほしい最も大切なことは何か、ではそれをどう「言葉」にしていくのか。あたりまえのようで、これは難しいことです。

母校で再び得ることのできた貴重な体験を忘れず、ご指導いただいた多くの先生に恥じぬような人になることができるよう、日々邁進して参ります。

INFORMATION

入試

中学入試

- ◆募集 男女 160 名
 - ◆学校説明会
 - 第1回 9月25日(日) 10:00～
 - 第2回 10月23日(日) 10:00～
 - 第3回 11月20日(日) 10:00～
 - 第4回 12月18日(日) 10:00～
 - ◆入試
 - 第1回 1月11日(水)
 - 第2回 1月12日(木)
 - 第3回 1月17日(火)
- ※第1回は本校と川口会場の2会場で実施

高校入試

- ◆募集 男女 160 名
 - ◆学校説明会
 - 第1回 9月25日(日) 13:30～
 - 第2回 10月23日(日) 13:30～
 - 第3回 11月20日(日) 13:30～
 - 第4回 12月18日(日) 13:30～
 - ◆入試
 - 単願・第1回併願 1月22日(日)
 - 第2回併願 1月23日(日)
- ※詳細は本校 HP でご確認ください。

獨協埼玉 リニューアル

制服

2022年度、快適な学校生活を送れるよう、多様性に配慮したスラックス・ネクタイが高校制服にラインナップしました。また、略装期間に着用できる白と紺の各ポロシャツは、中学校制服・高校制服どちらにも2022年度夏から追加されます。

2023年度、中学校制服にもスラックス・ネクタイが追加されます。



HP



学校HPが昨年度秋にリニューアルされました。学校紹介動画、部活動紹介・表彰など、より多くの情報が得られる形となりました。

また、学校公式 Twitter では中学校・高校それぞれの広報紙が学校の様子を紹介しています。母校の今を、時折、同窓生の皆さまに、気にかけていただけたら幸いです。

同窓会役員人事紹介 (括弧内数字は卒業期)

| | | | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|------------------|-------------|-------------|
| 理事 | 岡崎 陽子 (10) | 安藤 慶恭 (27) | 関根 海人 (37) | 内藤 舞 (38) | 安孫子美優 (39) | 佐藤 友輝 (40) |
| 会長 | 成瀬 博文 (10) | 市原 泉岐 (28) | 常盤 知里 (37) | 高久 朋也 (38) | 飯島 健大 (39) | 夏川 直己 (40) |
| 副会長 | 玉山 栄一 (1) | 芳賀 大輝 (28) | 北川晴太郎 (37) | 磯田 桃果 (38) | 福島 大貴 (39) | 野口 葉月 (40) |
| 会計 | 永島 健次 (3) | 板倉 晃希 (28) | 丸田 航輝 (37) | 風間 賢太 (38) | 渋谷 航平 (39) | 藤原 圭吾 (40) |
| 会計監査 | 櫻井 広仁 (13) | 加美山 紘子 (29) | 堤 愛結 (37) | 鈴木 智顕 (38) | 横山 大智 (39) | 嶺井 愛瑠 (40) |
| 事務局 | 池永 佳央 (27) | 小林 直樹 (15) | 中前 千佳 (29) | 高橋 夏希 (37) | 杉本 心愛 (38) | 山崎 優斗 (40) |
| 事務局 | 小平 茂 (5) | 深瀬 和之 (16) | 柳沼 彬 (30) | 青木 政飛 (37) | 岸田安寿香 (39) | 池野 要芽 (40) |
| 事務局 | 高田 晶子 (10) | 仲田 英紀 (17) | 山科 勇士 (30) | 澤田 颯大 (37) | 島田 爽太 (39) | 石川 碧嶺 (40) |
| 幹事 | 片桐 岳信 (1) | 岩田 寛史 (17) | 関根 彩乃 (31) | 青木みさと (37) | 橋本 幹大 (39) | 鬼塚 遥大 (40) |
| | 小野 岳二 (2) | 鈴木 大州 (23) | 柳井 麻希 (31) | イクバル・MD・ムミト (37) | 田中 琴乃 (39) | 小林 尚生 (40) |
| | 桑嶋 優紀 (3) | 武井 大史 (25) | 石塚 俊輝 (31) | 富岡 創紀 (37) | 間嶋 遥香 (39) | 齋藤 日南子 (40) |
| | 小久保博史 (6) | 武内 保香 (26) | 渡部 聖人 (31) | 潮田 綾菜 (37) | 宮内 杏璃 (40) | 久野 優芽 (40) |
| | 角田 裕孝 (6) | 正岡 祥樹 (26) | 石田 えみり (33) | 川崎 翔太 (37) | 安野 友菜 (40) | 天野 凜 (40) |
| | 酒井 直樹 (7) | 池永 佳美 (27) | 宮田 樹弥 (33) | 丸山 桃寧 (37) | 山口 詩織 (40) | 宇田川 夏葵 (40) |
| | 瀬戸てるみ (8) | 高橋 美実 (27) | 奥田 樹弥 (33) | 丸山 桃寧 (37) | 戸田 さくら (40) | 坂口 友理 (40) |
| | | 萩野 克真 (27) | 有光 真織 (20) | 藤野 起也 (38) | 八島 花香 (40) | 岩田 晃奈 (40) |
| | | | 五十嵐 玄 (21) | 平堀 陽悠 (38) | 小田 雄太 (40) | 坂本 真優 (40) |
| | | | 丸川 怜子 (21) | 榎本 純菜 (38) | 河本 采己 (40) | 柴崎あかり (40) |
| | | | 井上 大史 (25) | 横川 詩恵 (38) | 田中 駿輝 (40) | 高橋 希 (40) |
| | | | 砂押 友哉 (36) | 加藤 上幸 (38) | 塚原 未沙 (40) | 樋泉里奈子 (40) |
| | | | 石上 雄大 (36) | 新出 紗也 (38) | 渡邊 陽向 (40) | 福田 愛梨 (40) |
| | | | 小島 瑞生 (36) | 佐藤 孝則 (38) | 小島 咲良 (40) | |
| | | | 宇佐神カナ (36) | 高瀬 夏帆 (38) | 小松 快人 (40) | |
| | | | 土橋 知結 (36) | 岩崎 友哉 (38) | 齋藤 好華 (40) | |
| | | | 清水 太一 (37) | | | |

同窓会からのお願い

- 同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくお願ひします。
- 住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。
- 同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報を適切に保護し、会報、同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供に、これらの情報を利用します。

※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出ください。
 ※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を聞き出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。

獨協埼玉高校 同窓会連絡先

〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316 TEL048-977-5441 FAX048-977-2031
 事務局 (koda@dokkyo-saitama.ed.jp) URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>